

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎区第3グループ(田島・浅田・小田)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	川崎区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 田島こども文化センター ①年間延べ利用者数 24,055人 ②年間延べ利用団体数 293団体</p> <p>2 渡田小学校わくわくプラザ ①登録者数 281人 ②年間延べ利用者数 16,736人</p> <p>1 浅田こども文化センター ①年間延べ利用者数 26,616人 ②年間延べ利用団体数 513団体</p> <p>2 浅田小学校わくわくプラザ ①登録者数 136人 ②年間延べ利用者数 10,890人</p> <p>3 小田小学校わくわくプラザ ①登録者数 185人 ②年間延べ利用者数 14,035人</p> <p>1 小田こども文化センター ①年間延べ利用者数 19,709人 ②年間延べ利用団体数 158団体</p> <p>2 新町小学校わくわくプラザ ①登録者数 142人 ②年間延べ利用者数 8,862人</p> <p>3 東小田小学校わくわくプラザ ①登録者数 147人 ②年間延べ利用者数 9,195人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 136,901,471</p> <p>2 支出 人件費 121,610,854 事業費 7,635,363 事務経費 13,226,385 その他経費 ----- 合計 142,472,602</p> <p>3 差引 -5,571,131</p>
サービス向上の取組	地域や学校との連携を重視しながら、地域におけるこどもたちの健全育成の場となるようサービス提供に努めている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 当指定管理者の複数館運営によるスケールメリットを活かし全市合同行事として「マンカラ大会」「BUNBUNステージ」「子どもサミット」を開催し広く交流した。グループ合同行事として「さんさんキャンプ」、「風船パレー大会」の開催や地元の高校吹奏楽部のコンサートに参加し、異年齢の児童の交流を深めた。各館においても障がい児も含めた「マンカラ大会」や中高生企画・実施の映画鑑賞会や「館まつり」などさまざまなイベント等を通じて地域児童の健全育成、交流の場づくりが行われた。「館まつり」では、地域の方や中高生もボランティアとして参加した。また、わくわくプラザにおいては、「わくわくランチ」を開催し、学校の先生や地域の高齢者の方などが参加しこどもたちとの交流が図られた。こども文化センター並びにわくわくプラザの利用者は130,098人となり、前年度より5,827人増加(対前年度比104.7%)となった。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
<p>(評価の理由) 金銭管理・会計手続及び支出内容について適切に行われている。全20グループ53施設を指定管理している運営法人のスケールメリットを生かし、消耗品等の一括購入や警備業務の一括契約などを通じて経費の削減を図った。全体としては適切な経費執行を行っている。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 各館では毎月のお便りを近隣の小学校や中学校及び関係機関(町会、区役所、社会福祉協議会)等へ配布し周知、ホームページもリニューアルを行った。改修したホームページは、各種イベント等の情報が集約・整理され、団体利用の会議室等の予約状況が把握できるなど利便性が向上している。また、地域コミュニティFMを活用してイベント情報等も広報を行っている。また、地域教育会議の広報紙にも年4回の広報を行うなど、さまざまなメディアを活用した取組を行っている。サービス向上への取組として、アンケートやこども運営会議での意見を取り入れながら、工作教室、オセロ大会、ぬりえ・イラストコンテストなどだれでも気軽に参加できるイベントを多数開催した。また保護者懇談会の参加者増に向け、保護者会後に「親子工作教室」などを実施した。クレームについては、職員間で情報を共有して、検討会を開き再発防止に努めている。さらに区役所や地域住民と連携して「小田新春お楽しみ会」、「田島地区こども文化センター対抗カローリング大会」を開き、地域での施設への理解や地域との連携にも努めている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正な職員配置を実施の上、特別な支援を必要とする児童については、適宜スタッフを追加で配置した。市が主催する研修や運営法人本部主催の研修、川崎区9館合同やグループごとの研修、館ごとの研修へ多数参加し職員のスキルアップを図った。各館では、「中高生対応について」「特別な支援を必要とする児童の対応について」などの研修を小中学校教諭を講師に開催した。個人情報等適正に取扱い、漏えいや紛失の事実はない。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3
	事故等が発生した場合に適切な対応をしているか				
	感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか				
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 日常的な施設内の点検や安全整備をチェックシートを用いて日々行い、軽易な修繕は職員が行うなど必要な修繕や保守を迅速に実施し環境整備に努めた。全職員普通救命講習を受講し、設置したAEDを非常時使用できるよう研修を実施した。事故発生時には再発防止に向けて検証作業を繰り返して行った。地域と一体となった防犯活動の取組として、スクールサポーターや警察署との情報交換を実施した。さらに、こどもたちには「地域ふれあいの旅」イベントとして、こども110番の家を確認しながら巡回し、防災意識を高めた。災害発生に対しては、「防災時対応マニュアル」に沿って行動できるよう定期的に職員間の確認を行っている。消防訓練等も各施設で2回実施している。各施設の外に面したガラス面を優先に飛散防止フィルムを追加貼付した。非常食・保存水も配備されている。感染症の予防として、職員並びに臨時職員にもインフルエンザ予防接種費用の一部補助を行い利用者の感染防止にも努めている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 公の施設としての理念を尊重し、児童厚生施設としての役割を果たすよう努めている。
- 全20グループ53施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、経費の一元管理によって各種研修、各種イベント開催、ノウハウの共有等によってサービスを提供し着実に事業を推進している。
- 清掃チェックシートや安全点検マニュアルを活用し、子どもたちにとって安全・安心な居場所となるよう努めている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- こども文化センター及びわくわくプラザにおいては、平成27年度も子どもの権利を尊重した上で児童が安全で安心して過ごせる環境を確保し、サービス水準の向上と効率的な管理運営に努めること。
- 各施設でのさまざまな取組を通じて、こども文化センターが子どもたちの健全な育成並びに地域活動の拠点となるよう地域や関係機関と引き続き連携を図ること。